

# 「macOS用常駐型インベントリ収集エージェント」修正プログラム(v1.0.0.5)適用手順書

2021年7月6日

株式会社蒼天

## はじめに

本手順書は「macOS用常駐型インベントリ収集エージェント（以下、Macエージェント）」のARM系CPUに対応した修正プログラム（v1.0.0.5）の適用手順を記載しています。

## 1.動作環境

1	OS	macOS 10.12 (Sierra) macOS 10.13 (High Sierra) macOS 10.14 (Mojave) macOS 10.15 (Catalina) macOS 11 (Big Sur)
---	----	---

## 2.適用手順

	区分	内容	備考
1	修正プログラム一式を配置	「macAgent_module_1005」フォルダーを管理対象Macの任意の場所に配置	
2	ターミナルを起動	ターミナルを起動し、1の場所に移動	
3	実行権限を追加	以下のコマンドを実行し、インベントリ収集実行プログラムに実行権限を追加  chmod +x LV_InventoryAGT	
4	自動更新を停止	以下のコマンドを実行し、エージェントプログラムに自動更新を一時停止  sudo launchctl unload /Library/LaunchDaemons/LV_Updater.plist	

5	バックアップ	「/Users/Shared/LV_InventoryAGT」を任意の場所にバックアップ	
6	修正プログラムを適用	「/Users/Shared/LV_InventoryAGT」に「macAgent_module_1005」の内容を上書きコピー	
7	実行、確認	スケジュール実行を待ち、実行後にインベントリー情報が連携されているかをご確認ください。	スケジュール実行を待たずに強制実行する場合は以下の手順となります。 ①ターミナルで以下の場所へ移動 /Users/Shared/LV_InventoryAGT ②以下のコマンドを実行 sudo ./LV_InventoryAGT launch

### 3.適用前の状態に戻す手順

	区分	内容	備考
1	バックアップを戻す	「2.適用手順 - 5 バックアップ」でバックアップしたファイルを「/Users/Shared/LV_InventoryAGT」に上書きコピー	
2	自動更新を再開	以下のコマンドを実行し、エージェントプログラムに自動更新を再開  sudo launchctl load /Library/LaunchDaemons/LV_Updater.plist	